

搬送装置制御盤での火災発生について

1. 発生日

2025 年 11 月 5 日

2. 概要

第 2 加工棟第 2 組立室において、輸送容器搬送装置の点検作業をしていたところ、14 時 58 分に作業者が搬送装置の制御盤から臭いを確認し、制御盤の扉を開けたところ煙を確認した。14 時 59 分に制御盤のブレーカーを落とし、煙の発生が止まったことを確認した。15 時 15 分に消防へ通報し、16 時 23 分に鎮火が確認された。その後の調査で火災と判断された。

火災発生場所は第 2 種管理区域(密封されたウランのみ取り扱う管理区域)であり、施設内外への放射性物質の漏えい等、周辺環境への影響はなく、被ばく及び負傷者の発生もなかった。

3. 原因

発煙した部品は、搬送装置の電源の配線用遮断器に付属する電圧引き外し装置であった。

10 月 1 日に配線用遮断器が故障したため、同等の別の配線用遮断器に交換した。遮断器に付属していた電圧引き外し装置を取付けられないタイプであったので、運用上は必要のない電圧引き外し装置は配線したまま制御盤内に置いていた。

11 月 5 日に輸送容器搬送装置の点検を実施していたところ、搬送装置の近接センサが検知したことにより、電圧引き外し装置に信号電圧が印加され続け、過熱したことで焼損に至った。



輸送容器搬送装置制御盤



焼損した電圧引き外し装置